

「川越特別支援学校川越たかしな分校の活性化・特色化方針」

種別	知的障害	学部・学科	分校 高等部 普通科	R7.5.1 児童・生徒数	(男) 24 (女) 16	計 40名
アクセス	 東武東上線 新河岸駅から 徒歩 25分 （川越初雁高校敷地内） 西武バス(本川越駅・新所沢駅間)中福バス停から徒歩 25分					
<教育課程等>						
《生徒の可能性を広げる多彩な授業》 ◆ 50分×6限の授業を週5日実施 各種検定に向けた取組（情報処理、英語、漢字） ◆ 教科学習（社会、国語、数学、理科、音楽、美術、保健体育、家庭、英語、情報等） ◆ 職業（農園芸、ビルメンテナンス、食品加工、工芸、手工芸、木工、キャリアデザイン、現場実習） ◆ 自立活動、特別活動 《自信をもって、たくましく生きる生徒を育む授業》 ◆ 職業 1年生 全分野の基本的な知識や技術、就労に必要な態度を学ぶ。 2,3年生 自己の適正や希望職種などに応じて複数選択し、習熟を図る。 全学年「キャリアデザイン」・「産業現場等における現場実習」で、自信と、働く力を磨く。 ◆ 自立活動 自己理解やコミュニケーションの学習を通して、社会自立に必要な力を身につける。						
<学校行事・部活動>						
《共に生きる力の育成》 ◆ 体育祭、文化祭、初雁トライアル（マラソン大会）川越初雁高校と合同で開催 ◆ 部活動 週3回の実施 川越初雁高校の部活動交流 運動部 バスケットボール・サッカー 音楽部 ギターやキーボード、ドラム等の楽器演奏 校内ライブの発表 文化部 制作活動（美術、動画）、パフォーマンス（演劇・手品等）、調理、ゲーム等幅広い活動 ◆ 特別支援学校体育大会や交流大会への参加 陸上、サッカー、バスケットボール、ボッチャ ◆ 川越特別支援学校本校との交流 文化祭の参加 交流授業						
<家庭・地域との連携>						
《社会に開かれた豊かな学び》 ◆ 職業（メンテナンス） 自治会と連携した近隣高齢者宅の植栽の整備 ◆ 職業（食品加工） 地域の方へのカフェ（喫茶）活動、 近隣住民の方との交流 初雁高校や、近隣幼稚園でのパン販売 ◆ 居住地域の就労支援センターや、ハローワークとの連携 ◆ 学校公開（年3回）、夏休み体験入学会（2回）、進路担当説明会（1回）、入学説明会（1回）						
						
<進路>						
《適性にあった進路の選択》 生徒に寄り添った丁寧な支援 ◆ 産業等における現場実習 基本1年時に1回（5日間）、2年時に2回以上（5～10日間）、 3年時に2回以上（5～10日間） ◆ 進路先 令和6年度 15名 一般企業や特例子会社に就労（障害者雇用）、1名 福祉的就労 就労移行支援事業所や就労継続支援事業所、職業訓練校等の進路を選択するケースもあります。						

川越特別支援学校 川越たかしな分校 育成方針

目指す学校像

生徒の可能性を広げ、未来を
たくましく生きる力を育成する学校

川越たかしな分校 教育目標

社会の中で自信をもって
共に生きる力を育てる

たかしな分校の特色ある取組

- ・初雁トライアル
(マラソン)
- ・体育祭
- ・文化祭
- ・校外学習

部活動
学級活動
学校行事
生徒会活動

教科

国語 数学 社会
理科 家庭
保健体育
音楽 美術
英語 情報

- ・日本情報処理検定
- ・漢字検定
- ・英語検定
- ・ICT活用

自立
活動

職業

農園芸 木工
ビルメンテナンス
食品加工 フード
工芸 手工芸

地域や
家庭との
連携

- ・交流及び
共同学習
- ・地域とのカフェ交流
- ・生活・就労支援センター
ハローワークとの連携
- ・卒業生進路講演会

- ・学校環境整備
- ・初雁高校、幼稚園
でのパン菓子販売
- ・キャリアデザイン学習
- ・産業等における現場実習
- ・自治会員庭樹木の剪定

可能性
たくましさ
自信

自己の適性に合
う進路を決定する

学びをとおして
自己の適性を知る

基本的な生活習慣・
学習習慣・職業人とし
ての基礎の確立

